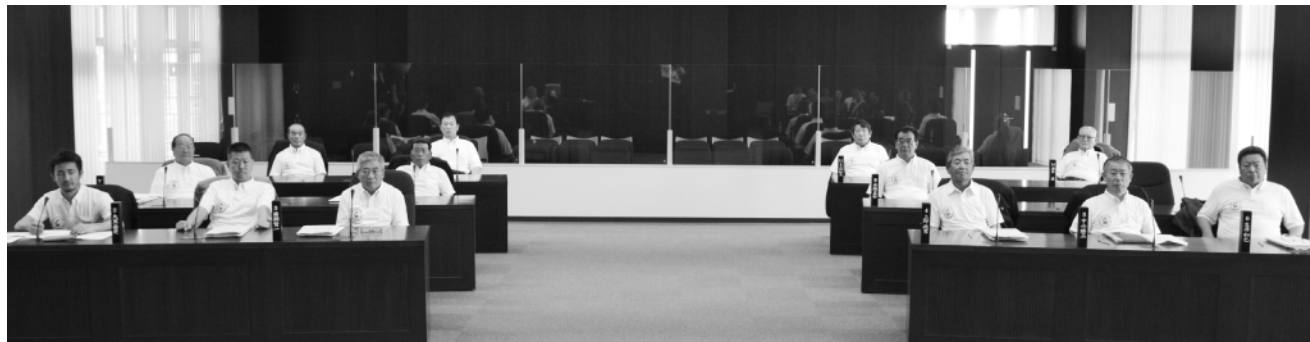


八菜丸ポロシャツを着用して開催した本会議



平成26年第2回定例会は、6月6日から11日までの6日間の日程で開催されました。

この定例会では、議員提出議案2件をはじめ、町執行部より報告6件と平成26年度一般会計補正予算など4議案が提案され、審議の結果、すべての議案を原案のとおり可決しました。

一般質問は、6月11日に行われ、6人の議員が登壇し、町の方針をたしました。

審議した議案内容

●議員提出議案

◇東海第二原子力発電所の廃炉を求める意見書の提出

東海第二原子力発電所に事故があれば、県内はもとより町内においても甚大な被害を被ります。安全安心に過ごせる日々と、穏やかな郷土を次世代に継承することが我々の責務であり、町民の願いだとして、東海第二原子力発電所の廃炉を強く求めるものです。

【意見書提出先】

内閣総理大臣

◇規制改革会議農業ワーキンググループ「農業改革に関する意見」を「農林水産業・地域の活力創造プラン」に反映させるにあたり生産現場の実態を考慮し慎重に対応することを求める意見書の提出

農業改革に関する意見が公表されたが、協同組合の理念や実態を無視した改革や組合員の意思を無視した改革は、混乱を生じさせるだけで、事業サービスに悪影響を与え、農業者の所得向上、食料の安定供給等に支障をきたす。また、農業生産法人の要件緩和により農地の農外利用、投機

目的の農地取得を促進し、地域農業の健全な発展を阻害する恐れがあるので、こうした内容が今後改定される「農林水産業・地域の活力創造プラン」に反映されないよう要望するものです。

【意見書提出先】

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

農林水産大臣

内閣官房長官

内閣府特命担当大臣

(規制改革)

●報告

◇土地開発公社平成26年度事業計画及び平成25年度決算
地方自治法の規定により、事業計画及び決算を報告するものです。

◇平成25年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書

昨年度の予算のうち、特別養護老人ホーム錦荘整備事業補助金、子ども子育て支援新制度システム構築事業、安心こども支援事業施設整備事業、町道1522号線(筑西幹線)道路整備事業、二級町道3号線道路改良事業の計5件、総額1億4千316万4

千円を今年度に繰り越すものです。

◇平成25年度国民健康保険特別会計予算繰越明許費繰越計算書

昨年度の予算のうち、特定保健指導業務委託事業、93万4千円を今年度に繰り越すものです。

◇平成25年度中央土地地区画整理事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書

昨年度の予算のうち、家屋物件移転補償、8千980万8千円を今年度に繰り越すものです。

◇平成25年度農業集落排水事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書

昨年度の予算のうち、中結城東部地区農業集落排水事業、2千万円を今年度に繰り越すものです。

◇平成25年度下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書

昨年度の予算のうち、鬼怒小貝流域下水道事業建設負担金、290万9千円を今年度に繰り越すものです。

●専決処分事項承認

◇税条例等の一部改正

地方税法等の一部改正に伴うもので、主な改正点は、①地方法人課税の偏在是正のための措置として、消費税率8%段階において法人住民税割の税率の引き下げ。②軽自動車税について、普通自動車税との格差の是正等による税率の引き上げ及び新車登録から13年を経過した3輪以上の軽自動車に対する重課の新設。③肉用牛の売却による課税の特例及び優良住宅地の造成等に係る課税の特例として、適用期限の3年間延長です。

◇国民健康保険税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴うもので、主な改正点は、①中間所得層の負担に配慮した課税限度額の引き上げ。②低所得者の軽減措置の対象拡大のための軽減判定所得の引き上げです。

●条例

◇非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正により、消防団員に係る退職報償金が引き上げられたことを受け、町消防団員の退職報償金を引き上げるものです。



退職報償金を5万～5万6千円増額

●補正予算

◇平成26年度一般会計

歳入歳出それぞれ9千918万6千円を追加し、予算総額を82億1千18万6千円とするものです。

歳出の主な内容は、個人番号制度施行に伴う介護・国保・健康管理等の電算システム整備費280万円。平成26年2月中旬の大雪により、被害を受けた農業施設の再建、修繕、撤去費用に対する補助金として8千300万円。八千代一中の建築確認検査中間検査手数料及び校舎解体工事に伴う設計単価の見直し等で1千317万円などの増額です。

●諮問

◇人権擁護委員候補者の推薦

現委員の生井衛さん(仲坪)が、平成26年9月30日をもって任期満了となるため、新委員に、関好太郎さん(新地)を推薦したいとして意見を求められたもので、推薦人が適任であると回答しました。

●請願審議結果

2件の請願が総務常任委員会及び産業建設常任委員会に付託審議され、審議の結果を本会議において諮りました。

◇東海第二原子力発電所の廃炉を求める請願

【請願代表者】
くらしと環境を守る会
代表者 増田 光利さん

◇規制改革会議農業ワーキンググループ「農業改革に関する意見」に関する緊急請願

【請願代表者】
常総ひかり農業協同組合
代表理事組合長 草間 正詔さん
(審議結果…いずれも採択)



第2回定例会における議案等の審議結果

事 件 名	裁 決 結 果
八千代町税条例等の一部を改正する条例の専決処分事項の承認を求めることについて	原案承認 (全会一致)
八千代町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分事項の承認を求めることについて	原案承認 (全会一致)
八千代町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 (全会一致)
平成26年度八千代町一般会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
人権擁護委員候補者の推薦について	適 任 (全会一致)
東海第二原子力発電所の廃炉を求める請願	採 択 (全会一致)
東海第二原子力発電所の廃炉を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)
規制改革会議農業ワーキンググループ「農業改革に関する意見」に関する緊急請願	採 択 (全会一致)
規制改革会議農業ワーキンググループ「農業改革に関する意見」を「農林水産業・地域の活力創造プラン」に反映させるに当たり生産現場の実態を考慮し慎重に対応することを求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

ポロシャツ議会開催

6月から9月のクールビズ期間を利用し、町の農産物応援キャラクター「八菜丸」の認知度向上のため、議員及び町執行部全員が八菜丸ポロシャツを着用し、定例会を開催いたしました。

より多くの皆様に八菜丸を知っていただき、町の広告塔として活躍してくれることを期待しています。



議場にて八菜丸を囲んで

町政を問う！ 一般質問6名が登場



小島 由久議員

新工業系ゾーンの地権者との話し合いの結果や企業誘致、企業進出について、現在までに議会への報告がないが、町長は、自ら新工業系ゾーンの地権者との説明会や協議を積極的に行ったのか伺います。

町長 今後は、可能な限り迅速な誘致を推進するためにも、前回行った意向調査結果等も踏まえ、エリアの設定等を模索していくとともに、進出希望企業の事情に応じ、必要であれば個別交渉も行いつつ、必要な諸手続きを行っていくなど、適宜、地区計画策定に向けた準備を進めていきます。

町長は、企業誘致に伴う受入体制検討プロジェクト会議及び八千代町産業戦略会議の報告に対し、どのような対応をしたのか。また、企業進出は当町の将来を考えれば、大

きな課題であると思います。が、企業進出に向けて自ら活動した回数と内容についてお聞きします。

町長 企業誘致優遇策として固定資産税の課税免除、定住促進策として保留地住宅支援助成金制度、新工業ゾーン地権者への土地利用の意向調査についての3つの報告を受け、いずれの対策も町の活性化には必要と判断し、実施いたしました。また、平成23年以降、日野自動車を中心にトップセーラースを展開しており、当町の地理的な優位性と広大な土地の状況等、町の発展性の優位性をアピールし、工場等の進出や定住者に対する働きかけを行っています。

企業の進出は、雇用の場の確保による若者の町外流出を防ぎ、また、従業員やその家族が当町に移住していただければ、人口増加や税收確保にもつながると考えますが、今後の人口増加への取組と税收確保への対策について伺います。

町長 対応策として、企業誘

致や人口の増加を推進する施策、特に若年者層を確保する施策などを講ずる必要があります。子育て支援策としての医療福祉費支給制度や出産子育て奨励金支給制度、保育園・幼稚園の施設整備、良好な教育環境の整備などです。また、日野自動車より、社員の住居相談窓口を設置するとの情報も得ていますので、そうした窓口を通じて、町の支援策や魅力などを積極的にアピールしていきます。それらの施策を着実に実行していくことで、定住人口はもとより、交流人口も増やし、活気に満ちた町づくりを目指します。そして、4期目の集大成として、企業誘致を積極的に進めていきたいと考えています。



未来のために今できることを



国府田 利明議員

原発事故の生活に対する影響は計り知れません。節電意識の向上や太陽光発電等の自然再生エネルギーの開発と普及を徹底すれば、原発に頼らない生活が可能だと考えますが、東海第二原発の運転再開に対する見解と今後の対応について伺います。

町長 原発の安全神話は、東日本大震災の事故で完全に崩れてしまいました。原発に関する情報が広く正しく一般に公開されれば、国民の安全を求める意識はより高まり、原発の危険性への理解も深まって、国の原発行政や電力会社の原発稼働体制を確実に安全なものへと導いていく確かな力となっていくと考えています。なお、私の立場としても原発再稼動には反対です。

当町のゴミ袋について、「無償配布分だけでは足りない」「金額が高い」といった声が多

く聞かれますが、当町の無償配布の増量や販売価格の値下げ、他市町のように配布体制の工夫が必要だと考えますがいかがでしょうか。

生活環境課長 販売価格は、下妻地方広域事務組合で決まっており、値下げについては当町のみで決定することはできない状況になっています。また、ゴミ袋の配布方法についても、従来どおりの方法で考えています。

町長 ゴミ袋の無償配布については、一般廃棄物の減量化、資源の有効性を認識し、一世帯80枚の無償配布で町民の方にもご協力いただいております。今後も同様の取扱いを考えています。



無償配布しているゴミ袋

全年代の方々に、八菜丸に
対し愛着を持っていただくた
め、関連グッズの販売、農産
物や当町の魅力ある所を盛り
込んだテーマソングの作成、
そして企業との提携も必要だ
と考えます。また、八菜丸を
適正に利用していくための商
標登録について伺います。

産業振興課長 PRに効果的
に活用できるグッズの作製及
び販売についても、引き続き
検討していきます。また、企
業との提携については、イラ
スト使用要領に基づき企業等
に対して、イラストの利活用
を推進していきます。そして、
商標登録については、今後の
八菜丸の動向や他のゆるキャ
ラの登録状況等を調査したう
えで、慎重に検討していきま
す。なお、イラストの著作権
は町に帰属しています。

町長 テーマソングについて
は、以前に八千代音頭等を
作った経緯がありますので、
今後、町のイメージアップと
いうことで、八菜丸音頭等を
検討し、当町のPRはもとよ
り、八菜丸や町の農畜産物の
PRを図っていきたいと考え
ています。



湯本 直議員

国民は全て健康で文化的な
最低限度の生活を送る権利を
有すると、憲法で保障してい
ます。時代が移り変わる中、
生活保護制度については、家
を持つ所得の無いひとり暮ら
し高齢者等、様々な事例もあ
ると思いますが町として今後
の対応を伺います。

福祉保健課長 生活保護を受
ける前には、例えば自動車の
保有は原則として認められな
いので、処分して生活費に充
てることになります。居住し
ている建物、宅地については、
原則保有が認められますが、
それが非常に価値の高い場合
は、売却して生活費に充てる
ことになります。また、ロー
ン付住宅の保有は認められて
おりません。今後も、町民の
皆様の生活困窮相談に対し、
生活保護法の定める一定要件
のもと、県の福祉事務所の地
区担当者と連携し、民生委員
の協力をいただきながら対応

していきます。

民生委員協議会では、毎月
定例会を開催していますが、
その中で、当町担当の福祉事
務所からケースワーカー等を
派遣していただき、先進事例
や困難事例の研修を開催し、
福祉事務所との連携を深めて
いくことが必要と考えますが
いかがでしょうか。

福祉保健課長 昨年度の定例
会では、救急医療情報キット
の説明、町の福祉行政の概要、
社会福祉協議会の事業の概要
説明、災害時高齢者支援の受
講、委員同士によるテーマ別
研修会、ひとり暮らし高齢者
を中央公民館に招いての交歓
会や自殺対策についての研修
会を実施しています。また、



誰もが健康で文化的な生活を

町内関係施設を訪問して概要
説明などを受けています。今
年度も各種の事業を計画して
いますが、今後は、ケースワ
ーカーを定例会に招き、生活保
護のより詳しい実態等を学ぶ
研修会を予定していきたいと
思います。

当町では、児童福祉活動
を行う児童委員を民生委員が兼
務しています。その他に、担
当地区を持たない主任児童委
員がいますが、その主な職務
と人数について伺います。

福祉保健課長 児童委員は、
子育て支援活動等の児童福祉
活動を行っていますが、担当
の地区を持たずに児童に関す
る事項を専門的に担当し、区
域担当児童委員と一体となっ
て活動する主任児童委員の方
が3名おります。主任児童委
員は、児童福祉関係機関と区
域担当委員との連絡、調整を
行うとともに、区域担当委員
の活動を援助、協力していま
す。また、町、児童相談所、
保健所、学校、教育委員会等
と連携し情報収集を行い、収
集した情報を区域担当委員に
提供する等、区域担当委員と
一体となって活動していま
す。



廣瀬 賢一議員

当町の海洋センターは、昭
和59年に完成し、幼児から高
齢者まで、幅広い年齢層の
方々に利用され、愛着を持た
れる施設ですが、近年、老朽
化が進み、維持管理費がかか
るため大きな負担となってい
ると思いますが、今後の運営
について伺います。

生涯学習課長 昭和59年にブ
ルーシー・アンド・グリーン
ランド財団より施設の無償譲
渡を受け、海洋性スポーツ活
動の拠点として、多くの町民
に利用されてきました。この
間、施設の目的でもある海洋
性スポーツの普及推進に重点
を置き、一般町民への利用や
幼稚園、保育園への開放、小
学生を対象とした水泳教室等
の開催により、利用者数は、
図ってきました。利用者数は、
ピーク時には年間約9千90
0人の利用者がおりました
が、砂沼サンビーチやほと
ランド・きぬ、民間のプール

施設整備などの影響もあり、減少傾向です。ここ数年の開所期間中の利用者数については、延べ3千人程度の利用となっておりです。また、施設の状況につきまして、開所以来30年が経過し、全体的に老朽化が進み、特に全体を覆うシートについては、材質そのものの劣化により破損している状況ですが、本年度も上屋シートを取りはずし、7月から例年どおりの開所を予定しています。

町長 B & G 海洋センターは、町民の海洋性スポーツ活動の拠点として、多くの町民に愛され利用されてきた施設ですが、老朽化が進み、改修には膨大な経費がかかること、さらには、近隣に温水設備を備えた高機能なプールが整備されたことによる利用者



老朽化が懸念される

の減少など、運営面でも多くの課題が存在しています。そうした中で、財団からの施設の存続運営という強い意向もあります。施設の安全性や町民のニーズも考慮しながら、現実に沿った方向性を見出したいと考えています。

現在、「B & G 海洋センター」という名称で運営をしています。今後は、新しく名称を募集し、運営していくことも良いのではないかと考えますがいかがでしょうか。

生涯学習課長 プールの名称については、無償譲渡を受けた際、八千代町 B & G 海洋センターという名前を使用するとの契約条項となっておりますので、名称の募集による変更は厳しいものと思います



プール内部の様子



大久保 敏夫議員

日野自動車の当町隣接地への進出は、皆さんが千載一遇のチャンスであると思われ、現在立地している日野自動車古河工場について、正確な敷地面積と、その中に当町地番の土地が含まれているのかどうか伺います。

企画財政課長 現在の日野自動車古河工場の敷地面積は66haです。また、この中に当町地番の土地は、含まれていません。

日野自動車では、古河工場の南東部を拡張したいと考えるがあるようですが、当町分と古河市分の敷地面積を伺います。また、それに伴う都市計画マスタープランの改定について、新たに設定する面積と拡張部分との関係性を伺います。

企画財政課長 日野自動車古

河工場の南東部拡張部分については、県が事業主体となり進めている事業ですので、詳細な情報は入っていませんが、古河市と八千代町総体で約21haあり、古河市分が約13ha、当町分は約8haと聞いています。

都市建設課長 今回、新たな工業系土地利用を図り、財政基盤の確保や雇用を促進し、町の活性化につなげるため、市街地調整区域での工業系エリアとして、水口地区の一部約30・5haをマスタープランに位置付けをしていくものです。日野自動車古河工場の南東部拡張部分のうち、当町分約8haについては、今回の都市計画マスタープランに位置付けようとしているエリアに含まれています。今後、この拡張分約8haについては、マスタープランの改定を経て、具体的な用途を盛り込んだ地区計画の策定を進めていくことになり、その後、開発許可を取得する手続きを進めていくこととなります。

八千代高校の北側の道路については、事業がストップしてから少なくとも10年近くになりますが、この部分につ

ては、「話がついた」「まだ解決していない」等の様々な話を耳にしますが、実際はどのような状況にあるのか伺います。



事業がストップしている八千代高校北側道路



中山 勝三議員

当町には、障がい者及び65歳以上のひとり暮らし高齢者に対し、交通の手段を確保する一助として、福祉タクシー利用料金助成事業があります。利用状況及び65歳以上の高齢者単身の世帯数、高齢者のみの世帯数をお聞きます。

福祉保健課長（※利用状況について、左表のとおり答弁要約）

利用者数及び助成額		
年度	利用者数	助成額
平成18年度	12人	5万3千300円
平成19年度	25人	15万7千610円
平成20年度	27人	23万2千880円
平成21年度	30人	26万2千700円
平成22年度	29人	24万4千400円
平成23年度	23人	25万470円
平成24年度	25人	26万1千890円
平成25年度	28人	32万6千790円

平成23年10月時点での65歳以上の単身世帯数は267世帯、また、65歳以上の高齢者

のみの世帯数は231世帯となっています。

福祉タクシー利用料金助成事業について、本事業の対象者に、所得税非課税の高齢者のみの世帯の方々も加え、高齢者福祉の向上を図ることが必要だと考えますがいかがでしょうか。

町長 福祉タクシー利用料金助成事業は、障がい者や高齢者の移動を支援する手段として、有効な事業であると考えております。高齢者のみの世帯への追加拡充については、近隣市町の状況を参考にしながら検討していきたいと考えています。

人口減少問題が大きく取り上げられ、当町においても高齢化率は上昇し、人口も減少傾向にあります。当町の住民登録者数、将来人口の予測及びお子さんを産む中心の年代である20代、30代の女性数について伺います。また、この問題に対する見解をお聞きます。

町民課長 本年6月1日現在、日本人が2万2千359人、外国人は905人の合計

2万3千264人の登録があり、そのうち20歳から39歳の女性の登録者数は、日本人が2千256人、外国人が64人の合計2千320人です。また、当町の将来の予測人口については、人口問題研究所が発表した推計によると、2030年には1万9千690人になるとのことです。

町長 現在、全国で年間20万人近く人口が減少している状況であり、当町においても人口の減少が進行していると認識しています。人口減少に歯止めをかけることは喫緊の重要課題の一つです。そのためには、企業誘致、定住化促進、福祉環境の整備、教育環境の整備等の人口の確保対策を進めることにより、魅力ある八千代町を強くアピールできるよう、そして、誰もが住みたいと思えるような町を目指し、取り組んでいかなければならないと考えています。



深刻化する少子高齢化

八千代第一中学校校舎改築事業現場視察を実施

去る、6月6日（金）本会議終了後、八千代第一中学校改築事業の工事現場を視察しました。施工業者の説明では、現在の進捗率は全体の約38%で、ほぼ当初のスケジュールどおりに進んでいるとのことでした。今後、安全管理を徹底したうえで、完成の日を無事に迎えることができるよう要望しました。



会議室にて状況説明を受ける



一中改築現場の状況（H26.7.9撮影）

水垣議長

茨城県町村議会議長会 副会長に就任

去る5月12日市町村会館において、県内12の町村議会が構成されている茨城県町村議会議長会が開催され、水垣議長が副会長に推挙され、6月1日付で就任しました。

今後、道州制の導入問題や地方の自立強化等、町村共通の重要な諸問題についての協議に参画し、地方の声を発信する役目を担います。

議会を傍聴しませんか

議会は簡単な受付で傍聴できますので、お気軽にお越しください。また、議場見学も受付しております。



議場を見学する中結城小の皆さん